

①アステ川西 1F (東) 情報スペース (川西市栄町 25-1)
 展示期間：2月22日(月)～3月1日(月) 10:00～20:00
 ※最終日は10:00～17:00



神野翼
 現代芸術家神戸ゆかりの作家小松喜喜と世界4大アーティスト 嶋本昭三に師事する。2001年より現代芸術家として活動。絵画、立体造形物の制作をするだけでなく、その延長線上に身体を使ったアートパフォーマンスを国内外問わず行う。また、演劇役者や舞台装飾など活動は多岐にわたる。2020年 加西鶴野飛行場アートプロジェクト「創造飛馳」川西まちなか美術館 出展・大賞受賞
 2019年 下町芸術祭出展、鉱山と道の芸術祭出展
 国内外問わずアートフェアや個展・グループ展にも参加。

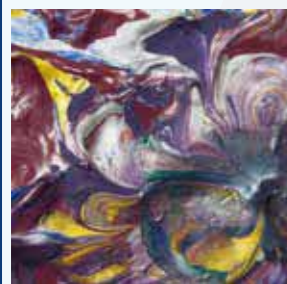


小倉和
 主に蠟染めという日本の伝統技法を用いてアート作品やデザイン制作を行う。「文化のリノベーション」をテーマに、文化的価値のある媒体をアパレル・デザイン・アートなど様々な分野で発信。
 2020年 生野ルートダージャン芸術祭 出展
 2019年 川西まちなか美術館 出展・大賞受賞
 2017年 下町芸術祭 出展
 その他、国内外問わずアートフェアや個展・グループ展にも参加。

②アステ川西 3F (南西) 空き店舗壁面スペース (川西市栄町 25-1)
 展示期間：2月22日(月)～3月1日(月) 10:00～20:00
 ※最終日は10:00～17:00



中元俊介
 1986年神戸市生まれ。2008年大阪芸術大学デザイン学科卒。
 2011年 単身渡独
 2012年 ドイツライブツィヒ日本の家で個展
 2015年 メリケンシーサイドギャラリーPart 2出展
 2015年 下町芸術祭 Painterliness 出展
 2017年 下町芸術祭下町すちゃらか新喜劇ディレクション
 2018年 第5回川西まちなか美術館ターナー色彩株式会社賞
 2019年 鉱山と道の芸術祭出展
 下町芸術祭出展



数内舞
 2010年活動開始。「世の中のあらゆるものとの間には「距離」が存在する」という考えのもと、抽象画やインスタレーションの作品を制作しています。
 2014 POP UP GENTLEMAN(阪急メンズ大阪) / 2017、18 ART Stream 2017、2018(大丸心斎橋店) / 2018 第5回川西まちなか美術館ライブペイント (兵庫県) ※ライブペイントフェスタ賞受賞 / 2019 くだやまアートウィーク 2019 ライブペイント (和歌山県)
 ほか、個展・グループ展多数

③アステ川西 1F (東) 情報スペース (川西市栄町 25-1)
 展示期間：2月22日(月)～3月1日(月) 10:00～20:00
 ※最終日は10:00～17:00



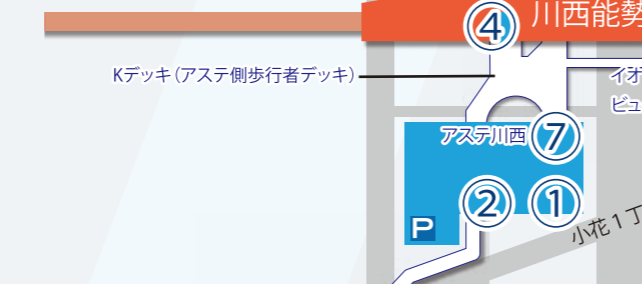
鍵井靖章
 水中写真家。
 1971年、兵庫県川西市生まれ / 鎌倉市在住。
 川西市立川西小学校・川西中学校・兵庫県立明峰高等学校・龍谷大学法学部卒業。
 自然のリズムに寄り添い、生き物に出来るだけストレスを与えないような撮影スタイルを心がける。3.11以降は、岩手県の花巻を定期的に記録している。
 TBS「情熱大陸」「クレイジージャーニー」「探偵ナイトスクープ」「関ジャニクニクリルα」など出演、著作、受賞歴、多数。

https://www.instagram.com/yasuaki_kagii/
 https://twitter.com/Yasuaki_Kagii

③川西市役所 中央玄関北側ディスプレイ (川西市中央町 12-1)
 展示期間：2月23日(火)～3月4日(木) 9:00～17:30 (屋外展示)



小泉哲哉
 1981年生まれ。滋賀県出身。イラストレーター。現在、トレーディングカードゲームのイラストを中心に活動中。主にPCで作画を行なっているが『デジタルとアナログの間』を表現の基軸として活動しています。
 第4回川西まちなか美術館ライブペイントフェスタ賞受賞



⑦アステギャラリー (川西市栄町 25番1-601 アステ川西 6階) 展示期間：2月24日(水)～3月1日(月) 10:00～17:00



岡本航
 川西市出身。
 1995年生まれ。
 小学3年生の秋、奈良を訪れた際に東大寺大仏に感動したことがきっかけで仏像に興味を持ち仏画を描きはじめる。
 小学6年で初の個展を開催。各所より依頼を受け仏画展を開く。
 2014年 京都造形芸術大学で日本画を専攻
 2018年 猪名川町上野の工房にて作家活動を開始



⑤キセラ川西プラザ 2F フリースペース (川西市火打 1丁目 12-16)
 展示期間：1月31日(日)～3月2日(火) 9:00～19:00



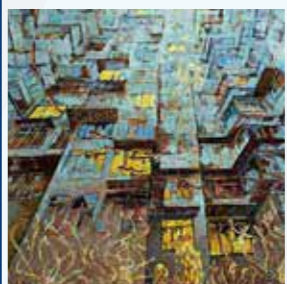
大野良平
 1959年、宝塚市に生まれる。宝塚造形芸術大学で今村輝久に彫刻を学ぶ。1991年、同大学を一期生卒業。同年、全関西美術展一席受賞。阪神淡路大震災後、自宅を解体した廃材を素材に「記憶の中の廃材シリーズ」発表。2005年、武庫川中州に、街と人の心の再生を願う「生」の石積み制作。2010年、記憶の中の「生」再現プロジェクトを立ち上げ、今日まで市民とともに「生」の石積みを続けている。

緊急事態宣言の影響で当面の間、開館時間が19時までに短縮

④川西市立ギャラリーかわにし (川西市栄町 20-1「川西能勢口駅」駅舎1階)
 展示期間：2月24日(水)～3月1日(月) 10:00～17:00



高田治
 1985年兵庫県生まれ。
 2007年宝塚造形芸術大学卒業。
 主に金属と陶などを用いて制作している。
 国内外問わずアートフェアや個展・グループ展にも参加。



加藤康明
 1985年大阪生まれ。高校時より水彩画、大学時に油彩画を始める。物や人の境界線にある「あやふやさ」に着目して制作する。「a stories」では、香港の集合住宅をモチーフに制作。集合住宅の無機質な面を有機化した形態の中でこそ、息づきしみ出る人間の生命感や熱気、そこにある確かな存在感に着目して制作する。作品制作の根底にある概念として、生命の儚さと強靱さの両面に注目している。
 2018年 川西まちなか美術館大賞受賞
 2007年 宝塚造形芸術大学 卒業



高田雄平 (＋一般参加ワークショップ作品)
 嶋本昭三に師事。2004年宝塚造形芸術大学卒業。「マイナスの廃材からプラスの作品」をテーマに廃材で作品制作。主に新聞紙を使用し作品制作を行い、国内外で発表。インスタレーション、ワークショップ、アートディレクション、カレー販売等幅広く活動。
 子供の時から変わらない好奇心や鑑賞者に驚きを与えること、誰もやることがない、面白いことをしたい、それが創作の原点です。



松村大地
 2001年生まれ。
 切り絵を主とした作家活動や展示会の企画に関西に拠点を展開しています。最近、線を切り出すことを通じて、流動的な形や仮象をテーマとした作品を制作しています。また、制作のみならず、領域横断的に芸術の地平を歩こうと思索しています。
 2017年 川西まちなか美術館大賞受賞
 2019年より、京都工芸繊維大学デザイン・建築学課程に在籍。

⑥川西市市民活動センター・川西市男女共同参画センター (川西市小花 1丁目 8-1 ジョイン川西内)
 展示期間：2月23日(火)～3月4日(木) ※2月28日は休館
 平日 9:00～20:00 土日祝 9:00～17:00



松井コーヘー (＋一般参加ワークショップ作品)
 1979年兵庫県生まれ。宝塚造形芸術大学卒業。
 嶋本昭三(元具体美術協会)を師事。
 画家・造形作家として活動をスタートし、国内外でのパフォーマンスや個展・グループ展を行う。
 近年は平面作品制作を行いながら、アートディレクターやワークショップ、デザイン企画会社経営、こども絵画教室主宰など幅広い活動を展開している。



Ms & Mr シュウ
 現代美術家。1995年、阪神・淡路大震災が起こる。多くの人が命を失う。生きるとは、これを機に『生きる重さ』を見つめる「大震災後も夜が明ける」を副題とした平面・立体作品を国内外で発表し続ける。2011年、東北を襲った津波、その向こうにいたであろう慈悲・空虚・慈愛の神を具現化した「空神」シリーズ作品も生まれる。第48回新象展賞(最優秀賞)(05)・京都府知事賞(03)・京都市長賞(96)・大阪市長賞(97・99・04) 市展1席(川西 05・池田 09・姫路 12・茨木 19) など多数受賞。